

● 地域提案型

平成19年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	イラク
2. 事業名	イラク・ファルージャ総合病院医師研修 Falluja General Hospital Medical Doctor Support Project
3. 事業の背景と必要性	現在イラク国は戦禍からの再建プロセスにある。その中でもアンバール県ファルージャ市では、国情の不安定さに伴い、危険で過酷な状況を選り、多くの医師が近隣諸国に避難している。そうした現状にも関わらず、国に留まり献身的に働く医療技術者、医師も存在していることから、しよくらんの会の前身である、橋田メモリアルモハマド君基金はこれまでも医療器材の贈呈を行うなど生命を育てる事業に取り組んできた。 このような状況を鑑み、最先端の機器を駆使して高度な医療を行う日本で、研修を実施しファルージャの人々の医療環境の向上支援を行う。
4. 事業の目的	イラクの医師や看護師を日本に招聘し、小児心臓外科・産婦人科・小児科の日本の高い医療技術を研修を通じて習得する。帰国後はイラクにおける医師の育成を図るとともに本事業から両国間の親交のきずなを深くし、平和貢献を行う。
5. 対象地域	イラク国アンバール県ファルージャ市
6. 受益者層	イラク国ファルージャ総合病院の医師並びに医療技術者
7. 活動及び期待される成果	<p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医師研修 現在要請のある小児心臓外科・産婦人科・小児科の医師研修を東邦大学医療センター大森病院にて実施する。沼津市における医療機関との研修や交流も行う。 <p>【期待される成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研修員の医療技術が向上し、日本から寄贈された医療器材メンテナンスを行い、その使用を確かなものとする。 ● 日本の医師から必要な支援を受ける情報ネットワークを構築する。 ● 経験が不足している現地医師が指導によって技術を向上する。
8. 実施期間	平成20年5月～平成22年7月
9. 事業の実施体制	技術指導は東邦大学医療センター大森病院が各研修員の専門分野に応じてカリキュラムを作成し研修を実施する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	沼津市（静岡県沼津市）
2. 対象国との関係、協力実績	実施機関のしよくらんの会の前身である、橋田メモリアルモハマド君基金はファルージャ総合病院からの医師研修受入に実績がある。技術指導を行う東邦大学医療センター大森病院も同様の協力実績を有している。